

平和追ひ求める心 忘れない

砥部町 永井 颯(16)

◇帰宅中、雨が降りそうになり自転車のペダルを踏み込む。空には黒い雲が広がっていた。1945年には、この何千倍も恐ろしい雲が広島のを覆ったのか。それから78年近い歳月が流れ、先日、先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)で各国首脳が広島の地へ集まった。

たち日本人が一番よく知っている。どのような状況でも、平和を追ひ求める心を忘れてはならないと思う。地球の、人類の、日本のために。

(高校生)

◇サミットに合わせ、ウクライナのゼレンスキー大統領が平和記念公園を訪れた。慰霊碑に献花を行う彼の横顔は無言で、私たちに何かを訴えるように見えた。ウクライナは現在、ロシアから「核の脅し」を受けている。そのような中で被爆地を訪れたゼレンスキー氏は、並大抵でない決意をより一層強固なものにしたであろう。

◇私たちは挑発行為に屈してはならない。核兵器や戦争から得られるものは、何一つない。そのことは私